

法輪功チーム 19回目の出場

「ひろしまフラワーフェスティバル」

「ひろしまフラワーフェスティバル」が6月10日、広島市中区の平和公園および平和大通り一帯で4年ぶりに開幕した。法輪功学習者（以下、学習者）たちは「花の総合パレード」に参加し、沿道から大きな拍手が送られた。

新型コロナに終息の気配はみられず、戦争も激化しており、世界の先行きが錯綜して見通しが見えない。人々に勇気を与え、より良い未来への願いを込めて、今年のフェスティバルは「Power of Flowers ~ここで咲く花 世界に届け~」をテーマに開催された。開幕当日には国内外から68万人の来場者が集まり、「花の総合パレード」には90団体5,600人以上が参加し、大賑わいとなった。

法輪功チームの隊列は天国楽団、花車、煉功、腰太鼓などで構成され、迫力あるパフォーマンスは行く



■「ひろしまフラワーフェスティバル」のパレードで演奏する天国楽団

先方で観客の注目を集めた。行進中、実行委員会本部のアナウンサーが何度も観客に法輪功を紹介した。多くの観客が録画したり、写真を撮ったりした。

「法輪功への迫害が早く終わることを願う」

岡山県から来た尾崎由典さんは、法輪功の出演が始まる

前から傍で静かに見ていた。「こんな平和な団体が、中国でひどく迫害されている状況を聞き、驚かされました。どの国の人であっても迫害されるべきではありません。早く迫害が終わることを願っています」と語った。法輪功のウェブサイトのリンクを保存した尾崎さんは「帰ってからじっくり読んで、これから法

法輪功を勉強しようと思っています」と話した。

「法輪功チームはポジティブなエネルギーに満ち溢れている」

ジョイさんとレオンさんはともにフィリピン人。ジョイさんは観光で来日し、初めて学習者の盛大なパレードを見て、非常に良かったと話した。

た。また、マニラでも学習者の活動を見たことがあり、良い印象が残っているという。

レオンさんは日本にすでに15年も住んでいる。これまで何度もフラワーフェスティバルで法輪功のパレードを見たことがあり、非常に壮大だとコメントした。数年経った今でも、この場で法輪功の隊列をすぐに見つけることができ、とても嬉しかったという。

パレードを見ていた武田正崇さんは、「法輪功チームは高揚感があり、素晴らしいです」と話した。

オランダから来たアレックス・クラネンブルクさんは、「法輪功チームの演奏は見事で、ポジティブなエネルギーに満ち溢れています」と語った。

パレード当日、地元メディアのパレードの報道では、法輪功チームの行進場面が空撮映像として使用された。

米国会議事堂に国旗掲揚

法輪大法と創始者をたたえる

2023年5月13日は、法輪大法が伝え出されて31周年。その創始者・李洪志先生の誕生日でもあるこの日、祝賀としてワシントンの国会議事堂で2枚の国旗が掲揚され、真・善・忍を原則とする法輪大法を世界に伝えた李洪志先生の優れた功績が表彰された。

下院議員ブライアン・フィッツパトリック氏による申請

国旗掲揚は、米国下院議員ブライアン・フィッツパトリック氏が申請した。そして掲揚後の5月25日、フィラデルフィア市の法輪功学習者（以下、学習者）ジェニー・シークスさんには、フィッツパトリック氏の事務所から2

枚の掲揚された国旗および表彰状が贈られた。

表彰された功績

2枚の表彰状のうち1枚では「米国下院議員ブライアン・フィッツパトリック氏の申請に基づき、国旗を2023年5月13日に国会議事堂に掲揚し、法輪大法の創始者・李洪志氏が法輪大法、および法輪大法の原則である真・善・忍を伝えた事を表彰する。人々はその奇跡に感動し、その偉業は未来の世界各地の政治家に影響を与え続ける」とたたえられている。

もう1枚では「米国下院議員ブライアン・フィッツパトリック氏の申請に基づき、国旗を2023年5月13日に国会議

事堂に掲揚し、フィラデルフィア市の法輪大法学会をたたえ、『世界法輪大法デー』を祝賀し、法輪大法が伝え出されて31周年を記念する」と賞賛されている。

国旗を掲揚する意義とは

学習者のジェニー・シークスさんは、国会議事堂での国旗掲揚にはとても深い意義があると言う。中国で中国共産党（以下、中共）に弾圧されている学習者を励ますだけでなく、アメリカに限らず全世界の人々が法輪大法の真・善・忍という理念を分かち合うことができるのだ。

シークスさんにとってのアメリカ国旗は、アメリカの価



■法輪功学習者に贈られた国旗と表彰状

値観と伝統を象徴している。それはつまり自由を象徴し、専制政治という悪政からの自由を意味する。今年、シークスさんの要望を受けた下院議員のフィッツパトリック氏は、5月13日の「世界法輪大法デー」に李洪志先生のため国会議事堂で国旗を掲揚することを支持した。同氏は3年前に

も、法輪大法を表彰するため国旗を掲げたことがあるという。

フィッツパトリック議員は中共による法輪功への弾圧に以前から注目し、非難している。同議員は『生体臓器収奪の阻止と撲滅に関する世界宣言』と『法輪功を守る法』の共同提案者である。

ウクライナ・ドニプロ市民 法輪功を体験

法輪功が伝え出されて31周年を迎えた5月13日は、その創始者の李洪志先生の誕生日でもあり、「世界法輪大法デー」として各国で祝福されている。ウクライナ第4の都市ドニプロ市の法輪功学習者（以下、学習者）も河岸付近の公園で「世界法輪大法デー」を祝い、法輪功を人々に紹介した。

学習者は法輪功の功法を実演し、道行く人に法輪功を学んで得た効果や体験を紹介した。また、折り紙で蓮の花の折り方を教えた。

多くの人が立ち止まり、法輪功の功法を理解すると同時に、中国共産党による中国での学習者への迫害が今も続いていることを知った。



■川岸の公園で煉功する法輪功学習者

迫害を知った中学生

8年生（訳注：中学2年生）のダイアナさんは、法輪功は坐禅を含む、強力な身体動作のある修煉功法だと聞いたことがあったが、中国で起きて

いる迫害を知ったのは初めてだという。法輪功が「真・善・忍」を原則とする修煉方法だと聞いたダイアナさんは「この功法を修煉している人には、必ず忍耐力がある」と

話し、時間があれば自身も法輪功を学びたいと語った。

「蓮の花の折り紙で楽観的になり、気持ちが強くなるのを感じた」

蓮の花は人の自我の向上を示しており、泥の中から蓮の花が咲く姿は、依然として純粹さを保っていることの表れである。学習者が折り紙で蓮の花の折り方を教えたところ、様々な年齢層の市民が訪れた。

親子で来訪したナターリアさんと娘のカティアさんは、蓮の花を折るのがとても好きだという。ナターリアさんは「蓮の花を折って

楽観的になり、気持ちが強くなるのを感じました」とコメントし、法輪功を試してみたいと語った。

ナターリアさんは、法輪功が迫害されており、臓器狩りに遭っていることを初めて知り、とても恐ろしいと感じるとともに「一人一人が自分の意見を言い、気持ちを表現し、生活をコントロールする権利を持っています」と述べた。

彼女は法輪功の「真・善・忍」の原則を知って「私たちは生活の中でこの原則を守ろうと努力していますが、この原則を重視する修煉功法を見つけて嬉しく思います」と語った。

インドのマラーラム語『轉法輪』『法輪功』刊行

5月13日は、24回目の世界法輪大法デーである。この日、インドの法輪功学習者は南部都市バンガロールで新刊発表会を行い、法輪大法の主要な著作である『轉法輪』と『法輪功』がマラーラム語に翻訳され、出版されたと発表した。

マラーラム語はインド南部の公用語で、3500万人以上が話している。『轉法輪』と『法輪功』は、これまでインドの5つの公用語に翻訳されていたが、今回で6つ目の翻訳となる。

この慶事を記念し、バンガロールで名高いプラカシュ・ベラワディ氏とアクヒル・スカリア氏が招待され、スピーチを行った。

バンガロール出身の著名な俳優で監督、演説家、テレビタレント、活動家であるプラカシュ・ベラワディ氏は「世界が人工知能に向かっていく中で、私たちは、より良い人間にならなければなりません。法輪大法のような古来からの功法が、その唯一の道です。そこに大きな知恵が秘められているからです」と述べた。

バンガロールにあるジェームズ国際学校の学長であり、教育者のアクヒル・スカリア氏は、「子供たちは優しく、シンプルな生活を送るべきです。法輪大法は子供たちを暗闇から光へと導き、さらに悟りへと導いていく功法なのです」と述べた。

原著となる中国語版の『轉法輪』と『法輪功』は、法輪大法の創始者である李洪志先生が1990年代に完成した。『法輪功』は初心者向けの初歩的な読み物で、気功のレベルから功法を解説している。『轉法輪』は、毎日読むことで修煉の原理について理解を深めることができる。

『轉法輪』と『法輪功』は、インドでは6つの公用語（ヒンディー語、ベンガル語、カンナダ語、タミル語、テルグ語、そしてマラーラム語）に翻訳されたが、全世界では40カ国以上の言語に翻訳されている。



■プラカシュ・ベラワディ氏（右から2番目）とアクヒル・スカリア氏（左から2番目）

「金沢百万石まつり」法輪功が初参加



■子供たちに蓮の花の飾りを配る法輪功学習者

石川県金沢市で6月3日、「金沢百万石まつり」が開催された。東京、大阪、名古屋、そして金沢の法輪功学習者が「百万石踊り流し」の活動に参加した。金沢の伝統的な民謡に合わせて踊りながら、沿道の観客に「法輪大法は素晴らしい、真・善・忍は素晴らしい」と書いた小さな蓮の花を配り、法輪大法の素晴らしさを人々に伝えた。

金沢百万石まつりは、金沢で最大の年中行事であり、日本の伝統的な太鼓演奏、加賀獅子舞、百万石行列、そして百万石伝統舞踊などを観ることができる。今年は4年ぶりに開催され、39万人が来場したという。

法輪功チームがメインスクリーンの前に進むと、祭りの主催者が、「法輪大法は、真・善・

忍の原則に基づいて自己を高め、道徳を向上させます。心と体の健康が得られる、中国の伝統的な気功修煉法です」と紹介した。行進中、学習者は通りの両側で蓮の花の飾りを配りながら、法輪大法が世界に広まっていることを人々に伝えた。中には蓮の花の飾りが欲しいと言う人もいた。

法輪功学習者は、70代の男性に蓮の花の飾りを渡し、「法輪大法は真・善・忍に基づいて行動するように人を教え導き、人類の道徳水準を向上させています。そして今、法輪大法は世界の多くの国々に広まっています」と紹介した。男性は、法輪功の理念に強く賛同し、蓮の花の飾りがとても好きだと喜んだ。

写真特集 「法輪大法デー」世界各国で祝賀



■モンテリオールでパレード



■ベルリンのイベントで合唱



■オーストラリアで、踊りを披露する子供達



■マンハッタンのパレードに登場した獅子舞



■マンハッタンのパレードで元氣よく踊る龍舞



■ニューヨークのユニオンスクエアで扇子の舞を踊る子供達



■モンテリオールのパレードで演奏する天国楽団



■ドイツ・フランクフルトで腰太鼓を披露



■ブルガリアの公園。横断幕は「法輪大法、中国の伝統的な心身修煉法」

法輪功、病気治療の有効率97.9%

1992年5月13日、法輪功（法輪大法とも呼ばれる）の創始者・李洪志氏は中国の長春市で心身を鍛える精神修養法を伝えた。

その「真・善・忍」の教えは人々の道徳の向上を導き、五式の動作は健康回復に顕著な効果があると口コミで広がった。そして大多数の法輪功学習者（以下、学習者）は短期間で病気が良くなり、体が軽い状態を取り戻すことができた。

以下では、広東省の12,553人の学習者を対象として、医師や医学教授等の専門家で構成されたチームによって1998年9月に実施された調査結果を紹介する。

有効率が97.9%

調査対象は、男性が27.9%、女性が72.1%。50歳未満が48.4%、50歳以上は51.6%。一種類以上の疾病を患っていた学習者は10,475人で、2~3か月から2~3年と

いう期間を経て、全治および基本的に回復したのは77.5%だった。症状が好転した20.4%を加えると、健康回復の有効率は97.9%に至る。

7,170人の学習者が1年間に節約できた医療費は、合わせて1,265万元（約2.5億円、1998年の都市部労働者の平均賃金は約15万円）。89.4%の学習者は法輪大法を通じて精神状態が落ち着き、道徳が向上したという。徹底的な自我の抑制と向上も見られた。

◆多くの人が実感した不可思議な現象

一、驚異的な改善のスピードと効果

多くの学習者は、法輪功を学んで心身ともに改善した。しかもそのスピードと効果は驚異的であった。李先生の講義を聞いてから、あるいは自宅で法輪大法の書籍を読んでから3~5日以内に病気の症状

が消え、全身が軽くなった者もいた。大多数は数カ月あるいは1~2年以内に病気の症状が完全に消えたか、好転した。調査対象の12,553人のうち、98%は数年以内に病気治療と健康保持の効果が現れた。一方で、2%の学習者が表面的に効果がないと回答した（ただしその中には、煉功を始める前にもともと元気だった学習者も含まれる）。

二、現代医学の奇跡

多くの学習者は、「薬土瓶」（常に薬を飲む人のこと）か、あるいは病院の常連だった。煉功を始めてから間もなく、薬を飲むことも注射もしなかったが、病気が悪化したり、再発したりせず、かえって身体状況はますます良くなった。

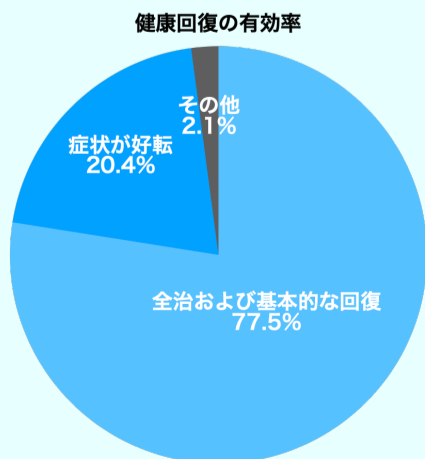
三、不治の病も回復

学習者の一部は医学的に頑固な病気、不治の病、あるいは

は診断できない病気を患っていた。しかし法輪功を通じて、奇跡的に回復した。

四、若返り

病症が消えただけでなく、体が若い方向へ戻る現象が現れた。年配の学習者の皺が少なくなり、髪の毛が黒くなり、顔色に赤みが差したり、皮膚に張りが出てつるつるになる現象が現れた。特に解釈できないのは、多くの年配女性に生理が戻ったことだった。



法輪功を体験してみませんか？



無料オンラインレッスン LearnFalungong.jp

医師「すい臓がんの進行が止まった、不思議だ」

私は、法輪功を始めて、身体面、精神面に起こった良い変化を皆さんにご紹介したいと思います。

絶望の時に光が見えてきた

私が法輪功をはじめたのは、職場の検診の人間ドックで、すい臓に腫瘍が見つかったのがきっかけです。血液検査、エコー、胃カメラ、MRI、PETなどありとあらゆる検査を行い、病院の先生からは「悪性腫瘍であれば、すい臓だけでなく、胃も脾臓も摘出しなければならない。大変難しい手術で、命を落とすこともある」と言われました。また、すい臓がんは、癌の王様とも呼ばれ、3年生存率が15%という極めて進行の早い、非常に治療が難しい病気です。このことを聞いた私は、絶望し、涙に暮れていました。

そのとき、法輪功を長年やっている母が「法輪功を始めてみない？ 私も法輪功のおかげで、リウマチと

膠原病が完治したのよ」と言ってくれました。母は、法輪功を始める前はリウマチと膠原病による全身の痛みと疲労感が酷く、病院に通い、ステロイドの副作用によるムーンフェイスに悩まされていたのです。しかし法輪功を始めた後は、全く薬を飲んでいないのに、全ての病状が消え、今ではとても明るく元気に暮らしています。

私も、この病気を克服するのは法輪功しかないと思い、法輪功を始めてみることにしました。1年後、また人間ドックを受けましたが、腫瘍は大きくなることもなく、病院の先生からは「あなたは若いから進行も早いはずなのに、不思議です」と言われました。私は法輪功を続けていればきっと腫瘍もそのうちなくなると固く信じ、これからもずっと続けていきたいと思っています。

また、副次的な効果として、あれほど悩まされていたひどい肩こりが全くなく

なり、ガサガサの肌がもちもちになり、高い化粧品がいらなくなりました。以前は毎週のようにマッサージに通い、マッサージ師の人からは「背中と肩が岩のように硬いわね。こんなに硬い人はなかなかいない」と言われていたのですが、今は、とても身体が軽快で、首のこりも肩のこりも全くなり、マッサージが不要になりました。

今、いろいろな病気や体調不良に悩まされている方は、是非、法輪功を試してみてください。私のように絶望した状態から、きっと希望の光が見えてくると思っています。

心が穏やかに、忍耐力もついた

私は、法輪功を始める前は、自己中心的で、仕事が忙しくなり、人が自分の思い通りに動いてくれないと、すぐにイライラして不機嫌になっていました。しかし、法輪功の静功である座禅(瞑想)を行うように

なってから、心が穏やかになり、ちょっとしたことで心が動ぜず、忍耐力もついてきました。私は、システム開発のプロジェクト・マネージャーを任されており、仕事上、社内外のいろいろな人と交渉を行わないといけないのですが、相手の話をよく聞いて、相手の特性に合わせたコミュニケーションがとれるようになり、人間関係が円滑で円満になりました。

また、雑念がなくなったことで、頭の回転も速くなり、仕事でいろいろな問題が発生しても、どのように解決すればよいか、何が問題の根本原因なのかがよく分かるようになりました。そして執着心が取り除かれ、自分の病気のことや人間関係など小さなことでクヨクヨすることもなくなりました。

全ての人に勧めたい



■平井さん(本人)

法輪功は無料で学べ、身体面、精神面にすばらしい効果があります。現在、世界中で1億人が学んでいます。また、法輪功は中国古来の気功法であり、宗教ではなく、いかなる強制もありませんので、誰でも気軽に始められます。より健康な生活を送りたい方、人生にいろいろな悩みを抱えていらっしゃる方は、是非、法輪功を学んでみてください。きっと新たな世界が開けるに違いありません。

休みの終わりに「明日からまた仕事か…」と思わなくなった理由

私は、法輪功を通じて、実生活においての心の持ちようが改善し、以前より充実した生活を送れるようになりました。その体験を共有したいと思います。

仕事が苦痛

私はコンピューターソフトウェアを開発する会社で働いています。お客様にソフトウェアを納めており、その運用で問題があったときに、よく苦情の電話があります。その対応をしなければなりません。その対応がとても怖かったです。また、よく上司に、強い口調でいわれることがありましたので、上司に対して心の中でよくない感情を持っていました。

こういう状態なので仕事が苦痛で、毎週の休みが楽しみで、休みの終わりにな

ると「明日からまた仕事か…」と憂鬱になる状態でした。こんな状態ではいけない、この良くない感情、心をなんとかしたいと思っはいましたが、どうすることもできませんでした。

私はネットサーフィンが趣味ですが、いつものようにネットを巡回していたところ、たまたま法輪功をネットで知り、公式サイトを見つけました。



「自分に原因を探して、自分を律する」と法輪功から教わった

その内容を読んでみると、自分自身の問題を解決できるのではないかと思い、ここに書かれてあるように、自分を律してみようと思いました。

本を読んでみて、自分自身の多くの良くない習慣や、考え方に気づくことができました。これらの習慣は、長期

間にわたって形成されていたので、取り除くのは簡単ではありませんでした。

この気功の教えにあるように、トラブルがあった時に、自分自身に原因を探し、自分の心を見つめ、さらに自分自身を律することを続けていく内に、次第に良くない考えや心が薄れていき、今では上司の指摘に対しても淡泊に対応できるようになり、逆に上司を思いやることができるようになりました。

また、お客様からのクレームに対しても、恐れることなく、淡泊に対応できるようになり、逆にお客様の立場に立って考え、相手の思いやる余裕がでてきたことで、お客様からより信頼していただけるようになりました。

苦痛だった仕事にやりがいを感じるようになった

私はこの会社に勤めて10年になりますが、法輪功を始めて約2~3年ほどで、会社に行くのが苦痛だった状態から、今ではやりがいを感じるようになりました。職場での心の持ちようが改善し、上司からもより信頼されるようになり、自分自身の生活も以前より充実しています。

振り返ってみれば、とても簡単な事だったような気がします。もし、法輪功を学んでいなければ、根本的な問題に気づくことなく悶々と過ごし、自分のことだけで精一杯で、精神的にも余裕のないストレスフルな生活を過ごしていたかもしれません。

中国の法輪功学習者133人に不当判決 2023年5月の統計

明慧ネットの統計によると、2023年5月に、中国本土の133人の法輪功学習者（以下、学習者）が不当判決を宣告された。

133人は23の省、自治区、直轄市に分布し、そのうち60代以上の学習者は26人、最年長は85歳。中国共産党（以下、中共）の裁判所、警官は学習者に66万6,942元（約1,300万円）、6,400米ドル（約89万円）の現金を強要して奪い取った。

現在までの情報によると、2023年1月から5月まで、計603人の中国本土の学習者が不当判決を宣告されたという。以下は、迫害事実の一部。

上級地質エンジニア・周徳勇さんに懲役8年、米連邦議員も注目

周徳勇さんは、山東省東營市勝利油田の上級地質エンジニア。2021年4月23日、市公安局の濱海支局の警官に身柄を



■米国国会の国際宗教フリーダム・コーカスが開催した公聴会

拘束された。そして今年4月22日、周さんは懲役8年、罰金10万元（約200万円）の不当判決を宣告された。

今年5月23日、米国国会の国際宗教フリーダム・コーカス（IREFC）は下院で「中共による法輪功への迫害」について公聴会を開いた。公聴会には下院議員、シン

クタンクの専門家、国会のスタッフなどが出席した。現在、フロリダ州に在住するソフトウェアのエンジニアで学習者の周遊さんは父の周徳勇さんの迫害事例を報告し、救援を呼びかけている。

国会議員は「これは非常に重要な議題です。アメリカ

はできる限り行動を起こし、迫害を阻止します」と語った。下院議員のガス・ビリラクス氏は周さんの件で3回にわたってバイデン大統領に書簡を送った。上院議員のマルコ・ルビオ氏も2回アメリカ国務省に手紙を出し、8人のフロリダ州議員が2通目の手紙に署名した。

85歳の廖玉英さんに不当判決

広東省茂名市の学習者・廖玉英さん（85歳女性）は、かつて胃病で20年以上苦しめられた。多くのものを食べることができず、病院で診てもらい、たくさんの薬を飲んでも治らなかった。1998年、廖玉英さんは法輪功を学び始め、全ての病気が完治した。

しかし、法輪功を学んでいるとの理由で身柄を拘束され、家財を押収された。労働教養処分を科され、洗脳班に送られたこともあった。

2023年4月25日、茂南区検察庁の関係者らは廖玉英さんの息子を強要して共に廖さん宅に行き、廖さんのベッドの前で書類を読み、息子にサインを強要し、ベッドで横になっていた廖さんに拇印を押させた。その後、廖さんは刑務所外での執行を宣告された。

湖南省の呉伝英さん 迫害され死亡

湖南省臨レイ県の呉伝英さんは、法輪功を学んでいるとの理由で、中国共産党の刑務所で8年間不当に拘禁され、あらゆる非人道的な拷問を受けた。年金を停止された呉さんは告訴し、裁判では勝訴したが、人力資源社会保障局からは年金給付の執行を拒否された。2023年4月19日、70歳の呉さんは迫害の中で亡くなった。

法輪功を学んで健康になる

呉さんはかつて糖尿病、腎炎など12種類の病気を患い、特に不眠症と頭痛に悩まされていた。1998年から法輪功を学び始め、長年苦しんでいた病気が消え、心身とも健康になり、別人のように変わった。

懲役1年の不当判決

2000年2月、呉さんは法輪功の無実を伝えようと北

京天安門に行き、「法輪大法は素晴らしい」などと大声で叫んだとして、臨レイ県留置場に拘禁された。

期間中、手錠が手首に深く食い込み、呉さんの腕と両手は赤く腫れ上がった。夜、呉さんは壁に寄りかかりながら、横座りで、分刻みの痛みを耐えていた。

その後、呉さんは1年間の労働教養処分を科されたが、県留置場で2年6カ月間拘禁された。



2004年11月から2005年11月までの1年間、呉さんは4回も連行された。強制的に洗脳班に送られ、臨レイ県裁判所から懲役3年の実刑判決を言い渡された。ある日、呉さんは刑務所から病院へ搬送される途中で脱走し、数カ月間放浪生活をした。

2006年9月9日、呉さんは長沙市で迫害を暴露する資料を配布したところ、法輪功に対して誤解した者に通報され、再び連行されて臨レイ県留置場に拘禁された。

拷問され歩行困難

期間中、呉さんは平手打ちをされ、髪を引っ張られ、冬は一日中裸足で地面に立たされた。長期にわたる精神的、肉体的迫害の結果、体重は30数キロまでに減少し、背中が曲がり、歩行困難となった。

2007年10月19日、呉さん

は臨レイ県裁判所から懲役8年の実刑判決を宣告され、2014年に帰宅した。

長年の迫害で永眠

2020年3月12日の朝から、呉さんは再び15日間拘束された。2022年7月21日午前、臨レイ県公安局、安福鎮派出所、望城郷派出所は、大量の警察官を出動させ、7人の学習

者の家宅捜索を行い、身柄を拘束した。

呉さんも家宅捜索され、手錠をかけられ公安局で尋問を受けた。午後9時過ぎ、呉さんは帰宅したが、住居監視下に置かれることになった。

長年迫害を受けた呉さんは、今年4月19日に亡くなった。

『明慧二十周年報告書 中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害』

電子書籍(PDF版)購入はこちら

過去20年間、中国本土の法輪功学習者が直面してきた迫害状況の記録。

中国共産党が他国の指導者や企業を脅迫することにより、海外まで迫害の手を拡大してきた実態が記されている。

生体臓器狩り阻止のポスター展開催=札幌

北海道札幌市の駅前地下広場で5月18日から21日まで、中国共産党（以下、中共）による生体臓器狩りを制止する国際ポスターコンテストの入賞作品展が開催された。

生体臓器狩り制止の署名も呼びかけ

作品展では、中共による法輪功学習者への生体臓器狩りの悪行を暴くポスター20枚が展示され、生体臓器狩りを制止させる署名が呼びかけられた。多くの若者が生体臓器狩りに関心を持ち、真面目に説明を聞きながら考え、署名後も作品の写真を撮り、SNSで拡散したいと話した。

会場の管理者は、作品展のスタッフが皆ボランティア

で、仕事の合間を利用して活動していると知り、会場費を半額にできる案をアドバイスした。また展示中に何度も会場に寄り、署名もした。

臓器狩りへの日本人の意識を高めたい

コンテストの銀賞作品「予約済」の作者・大橋輪さんは、札幌市にある大学の美術専門の学生である。ポスターの制作にあたり、どういことが起きているのかを調べ、子供までこのような残酷な行為から逃れられなかったことに心を痛めたという。

大橋さんは「たぶん、日本にいる人は意識が低いというか、起こっていること自体を知らない。そういう

こと（生体臓器狩り）が実際にあるのだとまず知ってほしいというのが第一で、未来ある小さい子供までもが臓器狩りに遭っていることを一目でわかっていただけたらと思います」と述べた。そしてポスターを通してでも、気持ちだけは届いてほしいと話し、「少しずつ状況が改善されていけば良いなと思っています。応援しています」と述べた。大橋さんの同級生や、友人たちも作品展に来場した。

全人類に対する犯罪

旭川市から出張で訪れた大学教授・崔さんは、真剣に説明を聞いて「これは全人類に対する犯罪です」と述べ、作品の写真を撮り、学生にも伝えるという。



■北海道札幌市で開催されたポスター展

中国との貿易や投資事業を行ってきた青木さんは、初めて生体臓器狩りの話を聞いてすぐに署名をした。そしてポスターの写真をツイッターにアップして友人と共有した。

中国人を含む貿易グループの皆は（生体臓器狩りの話を）聞

いたことがあると投稿欄にコメントし、本当の中国の情報をもっと知りたいと話した。

大学生の伊藤さんは、初めて臓器狩りの話を聞いて、あるべきではない、真実がもっと明らかになればと願っているとコメントした。

中国外相に法輪功学習者の釈放求める ドイツの国際人権協会

世界の金融都市フランクフルトに拠点を置く国際人権協会（IGFM）は5月19日、中国の秦剛外相と呉懇駐ドイツ中国大使に書簡を送り、ドイツ在住・丁楽斌さんの両親（中国在住の法輪功学習者[以下、学習者]）を不当に連行したと非難した。

また同協会は、迫害に直接関与した山東省委員会書記の林武、日照市委員会書記の張恵にも書簡を送り、連行された夫婦の即時無条件釈放を強く求めた。

不当に迫害された学習者の釈放を要求

同協会のヒューバート・カルプ氏は声援書簡の冒頭で、中華人民共和国の国民は信教の自由や人身の自由について不可侵の権利を有していると述べた。

書簡では、24年続く法輪功への迫害が中国の憲法に違反しているだけでなく、国際法にも違反していると強調した。

明慧ネットの報道によると、山東省日照市で今年の世界法輪大法デー（5月13日）前後、40人以上の学習者が迫害され逮捕された。この迫害は山東省の命令によるもので、日照市610弁公室（法輪功迫害の実行機関）が関与していたと判明している。

書簡では、日照市の2人の学習者・丁元徳さんと妻の馬瑞梅さんの安否に関心を寄せている。

「我々は、直ちに無条件で丁元徳さんとその妻である馬瑞梅さんの釈放を強く求める。2人の学習者はいずれも暴力を使ったことがなく、政

府に対する暴力の行使を呼びかけたこともない。彼らは国際的に保障されている信仰の自由という人権を行使しただけだ」

不当な連行の経緯

明慧ネットの報道によると5月12日朝、山東省日照市の警察ら十数人が私服で丁元徳さん夫婦の茶畑に現れた。彼らは夫婦の茶摘みを止めさせ、捜査を名目に携帯電話を押収し、一時的に丁元徳さんの携帯電話の電源を切り自宅捜索を要求した。

警官は丁元徳さん夫婦の自宅に到着後、妻の馬瑞梅さんの両手に手錠をかけ、車に閉じ込めた。ドイツ在住の息

子・丁楽斌さんは両親の状況を聞こうとして母親に電話したが、通話はわずか33秒で、母親は「悪い人が来て手錠をかけられた。手がもう痺れている」と言った。

彼らは午前10時過ぎまで違法に学習者の自宅を捜索し、その全過程を録画し、法輪功の書籍、中国共産党による法輪功への迫害の実態を暴露する資料を押収した。

その後パトカーが来て、丁元徳さん夫婦を車に乗せて自宅から連れ去った。「調査」と「尋問」への協力を強要した後、警官らは夫婦を日照市東港区公安局に連行し、不当な取調べを続けた。

「迫害され続けている法輪功学習者を声援」 米国国際宗教自由担当大使

米国国務省の国際宗教自由担当のラシャド・フセイン大使は5月13日、第24回世界法輪大法デーの祝賀声明をツイートした。

法輪大法への声援

フセイン大使は「法輪功の皆さんとともに、世界法輪大法デーを祝うことを大変嬉しく思います。法輪大法は真・善・忍という平和的な原則に

基づいており、私たちにとって最も重要なことです。同時に、信仰で迫害され続けている世界中の多くの法輪功学習者（以下、学習者）を声援します」とツイートした。

一方、米国務省は5月15日、2022年版の「国際宗教自由報告書」を発表した。フセイン大使は当日の記者会見で「中国共産党（以下、中共）は、ウイグル人を逮捕し

投獄しています。チベット仏教徒、中国人キリスト教徒、法輪功を迫害し続けており、その多くは耐え難い虐待を理由に中国から逃亡しています」とコメントした。

そして「私たちは、すべての人の信仰の自由が尊重されるよう、努力を重ねる必要があります。私たちは、信仰を実践しようとする人々に寄り添っていきます」と述べた。



U.S. Ambassador at Large Rashad... @IRF_Ambas... · May 13

I am pleased to join the Falun Gong community in recognizing World #FalunDafa Day, a time to remember the peaceful ideals of truthfulness, compassion, and forbearance in solidarity with the many practitioners around the world who continue to suffer for their beliefs.

2 9 23 2,276

ラシャド・フセイン国際宗教自由担当大使が ツイッターで、世界法輪大法デーを祝賀

迫害に怒りを表す大使

フセイン大使は昨年4月25日、国務省で学習者の代表と会談し、迫害の最近の状況や訴えに注意深く耳を傾け、学習者への支持と中共への非難を改めて表明した。

フセイン大使は「中共が多くの学習者を残酷に迫害するのは、絶対に容認できないことです。迫害に非常に強い怒りを感じています」と語った。

寛大で忍耐強い古代の人々

寛大で辛抱強く、度量の大きい事は伝統的な美德です。人が世渡り而我慢することができれば、多くの必要のないトラブルを避けられ、人と優しく付き合うことができます。これは、とても高く評価されるべきことです。

中国の伝統文化に感化された古代の人々は寛大で忍耐強く、このような品格は私たち現代人も学ぶべきではないでしょうか。

(一)

他人に金銭を施すことは難しくないかも知れませんが、自分の財産に損害を与えた人に優しくすることは、誰にでもできる事ではありません。

盗まれたお金が見つかって、自分のだと認めない

張知常が太学（古代中国の最高学府）にいた頃、家族が十両のお金を送りましたが、同じ寝室の者がお金を盗みました。管理人が探索すると、すぐに見つかりましたが、張知常は「私のお金ではない」と主張しました。

盗人は、お金を夜中にくっそりと返しました。しかし、張知常は彼の貧しい状況を知っていたため、お金を半分彼に分け与えました。人々は皆「お金をあげることはできるが、自分のものと認めないことは誰もができることではない」と張知常を称賛しました。

泥棒が心を入れ替え良民に

曹州の于令計は一般の平民でありながら正直で温厚な性格で、晩年は裕福になりました。ある夜に泥棒が入りましたが、捕えた泥棒は近所の子供でした。

于令計は子供が貧困だと聞き、必要なお金を与えました。そして于令計は、その子供を引き留めました。子供は于令計が通報するのではないかと怖くなりました。

しかし于令計は、子供が夜のパトロールで取り調べられないように夜が明けるまで家に引き留めたのでした。泥棒に入った子供は恥ずかしく感じ、良民になると誓いました。人々は心優しい于令計を称えました。

彼は学校を設立し、優秀な子供たちを育てました。息子と甥も科挙に合格し、一家は名家となりました。これは善行による福報なのです。

(二)

寛容は、放任とは全く違います。自分を傷つけた人を寛大な態度で対応することができても、国を治めることとなると、才徳兼備の人を選ばなければなりません。

盗みの黙認

北宋の名宰相・張齊賢は、召使いが銀製の食器を盗むのを目撃しました。しかし張齊賢は、黙って何も言いませんでした。張齊賢は晩年に宰相となり、多くの召使いが昇進しましたが、盗みを犯した召使いは官職や俸禄もありませんでした。

その召使いは、跪いて泣きながら張齊賢に訴えました。他の人が昇進する中、なぜ自分だけが忘れられたのかと。張齊賢は同情してみせましたが、30年前に召使いが銀食器を盗んだ時のことを告げました。張齊賢

は、召使いの盗みを30年も隠して、誰にも言わなかったのです。

しかし、宰相となった張齊賢は召使いに、「私は優れた人材しか起用しない。泥棒を役人に推薦することはできない。お前は私の世話を長くしてきた。その苦勞を考慮して30万銭を与えるから、もうここから離れなさい。この件は既に知られたため、お前も恥ずかしくてここにはいられないだろう」と言いました。召使いは非常に驚き、泣きながら別れを告げました。

我慢、寛容を重んじた古代の賢者

程頤（ていゐ：中国北宋時代の儒学者）は、「我慢できないことを我慢し、寛容できないことを寛容することは、普通の人より度量の大きい人しかできないことだ」と言いました。

陸遊（りくゆう：南宋の政治家で詩人）は詩の中で、「怒る前に少し我慢できる」と言い、杜牧（とぼく：中国晩唐の詩人）も「耐え忍べば、悩みが消える」と言いました。

賢者の言葉に学ぶ

一般に現代人は、派手で物欲に満ちた生活を送っており、特に中国では中国共産党の党文化に惑わされています。しかし、古代の賢者たちの言葉は素朴で誠実なものです。私たちは心を落ち着かせ、古人に学ぶ必要がありそうです。



「西瓜畑に灌水」の物語

春秋時代、梁国に宋就（そうしゅう）という人物がいました。宋就は、楚国の楚県と国境を接する県の長官をしていました。



荒らされた西瓜（スイカ）畑

両国の境界線には見張り所があり、それぞれスイカ畑を作っていました。梁国の兵士は勤勉に水や肥料を与え、大きなスイカが実りました。一方、楚国の兵士は怠けていたので、スイカは小さくてあまり実りませんでした。

楚県の長官はこの事を知り、見張り所の長を厳しく叱りました。見張り所の長は納得がいかず、くっそりと国境を越え、梁国のスイカ畑をめちゃくちゃに荒らしたのです。

梁国の兵士はやり返そうと、国境を越えて楚国のスイカ畑を荒らそうとしました。しかし、梁国の見張り所の長は両国関係を損なうことを懸念し、長官の宋就到に相談しました。

やられてもやり返さない

報告を受けた宋就はまったく気にせず、「楚国のやり方は間違っている。もし我々も同じようにやり返したら、いざこざを引き起こすだろう。楚国との関係をうまくするために、我々は徳をもって恨みに代えるべきだ。これからは毎晩、数人を送り込んで、彼らの畑に水と肥料を与えてやりなさい。ただし、このことは誰にも知られないようにしなさい」と指示しました。

やがて、楚国の畑にも大きなスイカが育ちました。楚国の兵士らは不思議に思い、その後、梁国が水と肥料を与えてくれたと知りました。

楚県の長官が噂を耳にし、すぐに楚王に報告しました。楚王

は宋就の取った行動に感動し、自国の兵士の行いを恥ずかしく思いました。そして、贈り物を持って梁国に謝罪しました。以降、両国の関係はとても良好になりました。

徳をもって恨みに代える

その後、人々はこの物語を、「徳をもって恨みに代える」ことを示すために使うようになりました。『北史李延孫伝論』（※）には「西瓜畑に灌水」の物語が記載されました。

※『北史』（ほくし：中国の北朝について書かれた歴史書。二十四史の一つで、全100巻あるが、本紀12巻、列伝88巻の構成となっている。『李延孫伝論』は列伝の第54巻に収録されている）

創世主と終末の救済の預言 古代エジプト文明

古代エジプト、古代インド、古代中国など、世界の多くの古代文明には「終末の救済」と「万法の統一」の預言が伝わっています。世界で最も古い預言は『創世主と終末の救済』と言われています。

新たな歴史の時代

古代エジプト文明は5000年前まで遡ります。古代ギリシャの哲学者プラトンの著作『ティマイオス』には、「エジプト祭司が、アトランティスの先史文明についてギリシャ人に語った」と記されています。

古代エジプト文明の初期に、トートという重要な人物が現れました。トートは

■トートは古代エジプトの知恵の神であり、月、数学、医療の神。また、古代エジプトの文字の創始者でもある



文字と書記を発明し、「知恵の神」や「知識の主」と見なされました。紀元前4世紀、エジプトはギリシャ、その後ローマ帝国に併合され、ギリシャ語が共通語となりました。この時期、トートは「ヘルメス」とも呼ばれました。

紀元2～3世紀には、トートによる預言が記録されています。預言によると「古代エジプト文明は消滅するが、最後に創世主が現れ、人々を救済し、啓示を与え、宇宙を浄化する」、「世界中で災害や疫病、戦乱が起こるが、そこから助かった人々は、新たな時代に進む」と記されています。

古い預言

古い預言には、多くのことが述べられています。人々が神を信じず、信仰を失うと、正統な文化や道徳から逸脱してしまい、徐々に思想が変異していくというのです。

終末時には、神々はこのような人々を見捨て、この世には邪悪な霊がはびこり、それらは人々を犯罪と破滅の道へ導きます。この邪悪な霊は、サタンや中国共産党の邪霊と通じ合っています。

預言では、「世界は混乱し、終末には災禍、疫病、戦争が現れ、人々は試練に直面する。この時、宇宙の

創世主が現れ、人々を正しい道に呼び戻し、教えに従う者が救済される」と記されています。

創世主は世界と宇宙を再び美しい状態に戻すのです。これは中国の預言の「法正乾坤」や「万法が正す」と非常に似ています。

多くの古代民族や文化の中にも「終末の救済」と類似した預言が伝わっています。

以下は、古い預言の翻訳です。ウォルター・スコット教授（1855-1925、英国の古典

学者）による1924年の英語訳版を基にしています。

古代エジプトのトートの預言（抜粋）

（一）序言

終末期、エジプトの人々が熱心に神を信仰し敬っても、神々はここにおらず、信仰の起源地は荒廃するでしょう。

（二）未来世界の危機

終末期、人々は生活に嫌気がさし、感嘆や敬虔の気持ち

を持たなくなります。そのため、人々は宗教信仰を嫌がるようになり、神聖な恩恵はなくなります。

その時、彼らはこの世界を愛さなくなるでしょう。この世界は創世主によって造られ、無限の幸福を与えられています。この美しい世界は、深い敬意、感嘆、そして愛を抱かせるものです。

将来、人々は明るい光よりも暗闇を好むようになり、死ぬことは生きることよりも意味があると考える人も出てくるでしょう。天国への真の憧

れはなくなり、信仰がある人は愚か者と見なされ、神を敬わない人が賢明と見なされるでしょう。狂人は勇者と見なされ、悪人は善人と見なされることとなります。

そして、魂の不滅を信じたり願ったりすることを人々は嘲笑し、それらは存在しないと自分自身を納得させるための努力をすることさえあります。人々はもはや純粋な信仰に基づく言葉を語ることや信じることをしなくなります。

それゆえ、神々は人間から離れることになるでしょう。

それはどれほど心を痛めることでしょうか。邪悪な存在が世界中ではびこり、人々に取り憑き、無法な犯罪や戦争、略奪、詐欺など、人間の善性から逸脱した行為へ向かわせるのです。

（三）創世主は世界を救い、地球と宇宙を浄化し、人類は新たな時代に

その時、大地は震え、海洋は吼え、星々は軌道を外れ、地上は腐敗し、土壌は貧弱になります。大気も悪化し、全てが混乱に陥り、すべての美

しいものは消え去ります。

しかし、それらすべてが起こる時、すべての神を創造した創世主は究極の善と卓越した力で、混沌の時代に救済をもたらします。彼は、迷って悪くなった者たちを呼び戻し、正しい道に戻すでしょう。彼は世界中の罪を清め、洪水や炎、戦争や疫病によって罪を根絶します。

したがって、彼は自ら創造した世界を初期の状態に戻し、宇宙にも新たな生命が創られ、再び美しくなり、全ての生命を賛嘆させるでしょう。創世主は廣大

な宇宙の創造者であり、救世主でもあり、その時代の人々によって永遠に賛嘆され、敬われる存在となります。

宇宙は新たに美しくなり、宇宙の全天体は、再び神聖で畏敬すべき姿に復元されます。これら全ては、創世主の意思によって成し遂げられます。そして、創世主の意思と法則は、時間を貫き、過去・現在は永遠に存在します。

なぜなら、創世主の存在そのものが全ての美しさを成就するものだからです。



明慧ネットとは

明慧ネットは、1999年6月21日に中国語ウェブサイトを立て、2001年7月に日本語版を開発しました。

法輪功について紹介すると同時に、世界各国の活動や、学習者が法輪功を学んだ体験談を掲載しています。

また、世界中（特に中国本土）で独自の情報伝達システムを構築し、危険な状況の中、現地から直接入手した情報を毎日大量に発信し、中国共産党の法輪功への迫害事実を報告しています。

明慧ネット日本語版
<https://jp.minghui.org/>

